

年 組 名前:



ボードゲームを楽しむスタッフや生徒—甲府市貢川本町

ボードゲーム店に フリースクール

週2回開講 「学びと遊び 両立の場」

甲府市貢川本町の「ボードゲームスペース あめかえる」の雨宮正直店長(30)が今月から、店内でフリースクールを始めた。それぞれが興味のある勉強に取り組みつつ、ボードゲームなどを通して楽しみながらコミュニケーションを取り、人との関わり方を身に付けられるような「学びと遊びを両立する場」(雨宮店長)を目指している。

〈杉原みずき〉

今春まで別のフリースクールでスタッフをしていた雨宮さんは、子どもたちを応援しようとフリースクールを開

設。中学生以上が対象で、開講は月、木曜の週2回。1回4時間のうち半分は勉強し、残りはボードゲームなどをして楽しむ。現在中高生3人が通い、学校の課題や興味がある教材で学習している。英語の教員免許があるスタッフが、含め計3人が運営に携わり、学生ボランティアもいる。雨宮さんは子どもの頃から囲碁やカードゲーム、テレビゲームなどと同じように「数学だけはとにかく好きで、面白くてやっていた」という。ただ自身は高校3年時に不登校を経験。大学も1カ月ほどで通えなくなったが、8年かけて卒業し、数学の教員免許を取得した。フリースクールで勉強は強制ではないが、雨宮さんは「将来やりたいことができたときに、勉強の仕方を覚え、学習した過程が役に立つ」と勧める。気が向かなければ絵を描いたり、本を読んだりしてい

てもよく「誰かがしている勉強に触れるだけでも世界が広がる」と語る。ボードゲームについては「息抜き」であるとともに、「コミュニケーションツールとしても活用できると考えている。結果を振り返り次に生かす」とは「勉強と同じ」といい、「好きで面白ければ同じようにできる。子どもたちが面白そうと思える種をまいていきたい」と話している。スクールは有料。問い合わせは雨宮さん、電話080(3448)7841。

(2023年5月20日付 山梨日日新聞 17面)

問1

甲府市のボードゲーム店は、

店内でフリースクールを始めました。

何と何を両立する場所を目指していますか。

..... と

問2

フリースクールでの勉強は強制ではありませんが、雨宮店長は、何に役立つと勧めていますか。

.....

問3

ボードゲームは、勉強の息抜き以外に、どのような利点があると話していますか。

.....